

名古屋支部からの便り

2024年10月1日(火)18時、名鉄グランドホテル(名古屋駅前)において、名古屋支部の総会・講演会・懇親会が開催されました。参加者は会員25名、来賓として依田高典教授(京都大学大学院経済学研究科)と事務局の田村利恵様の2名を含む計27名で、終始和やかな雰囲気の中で進行了ました。

総会では、室賀支部長の挨拶に続いて、高塚理事が支部活動報告を行いました。2023年7月に幹事が交代し、開催時期を夏から秋に変更したことや、デジタル技術を活用して支部運営の効率化を図ったことが報告されました。また、会計報告が行われるとともに、会計責任者および監事の交代が発表されました。



依田教授の講演

講演会では、依田教授による「行動経済学から見るAIの未来」をテーマとした講演が行われました。教授は、生成AIが引き起こす社会問題やその影響について具体例や研究成果を交えながら分かりやすく解説されました。

また、「今後10年間、この研究をさらに深めたい」との抱負を表明され、参加者からは「ノーベル賞に値する」との声も上がるなど、内容の充実ぶりに感銘を受けている様子でした。

懇親会では、田島副支部長の乾杯の挨拶で幕が開き、依田教授から京都大学の近況報告がありました。その後、1998年卒業の竹内純氏が「被災地サウナ支援NPO」についてスピーチを行い、震災時のテントサウナ活用事例として、避難所での採暖や個室の確保、トイレや談話室としての利用例が紹介されました。参加者は熱心に耳を傾けていました。



全員で記念撮影



依田教授の講演に聞き入る参加者

最後に、恒例となっている「琵琶湖周航の歌」と「逍遙の歌、紅もゆる」の合唱



肩を組んで合唱

が行われ、肩を組んで歌い、一体感を感じるひとときとなりました。懇親会は、伊藤副支部長の中締め挨拶で締めくくられ、次回の再会を誓いつつ閉幕しました。

井神 忠 (昭和61年卒)

京都大学経済学部同窓会名古屋支部 令和5年度 名古屋経友会会計報告書

収支決算書 (R5.4.1~R6.3.31)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
名古屋支部総会収入	224,000	支部総会経費	597,626
支部活動援助金	350,000		
預金利息	1		
(小計(5年度収入額))	574,001	(小計(5年度支出額))	597,626
前年度繰越金	208,251	剰余金(次年度繰越金)	184,626
合 計	782,252	合 計	782,252

(注) 収入の部の支部総会収入は、令和5年7月4日開催分で、会費7,000円×32名分。

財産目録 (R6.3.31)

種 類	預 入 先	金 額	摘 要
普通預金	三菱UFJ銀行名古屋営業部	184,626 円	
合 計		184,626 円	

監査報告

収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

令和 6 年 4 月 17 日

会 計 監 事

宮田尚芳 